

執筆者紹介 [執筆順]

①生年 ②所属 ③専門 ④主要著書・論文

武川正吾 (たけがわ しょうご) [編者] 序, 第1章, 座談会

- ①1955年
- ②東京大学大学院人文社会系研究科教授
- ③福祉社会学, 社会政策
- ④『連帯と承認——グローバル化と個人化のなかの福祉国家』東京大学出版会, 2007年/
『社会政策のなかの現代——福祉国家と福祉社会』東京大学出版会, 1999年

後藤玲子 (ごとう れいこ) 第2章

- ①1958年
- ②立命館大学大学院先端学術総合研究科教授
- ③経済哲学
- ④『福祉の公共哲学』(共編著) 東京大学出版会, 2003年/『正義の経済哲学——ロールズとセン』東洋経済新報社, 2002年/『アマルティア・セン——経済学と倫理学』(共著) 実教出版, 2001年

秋元美世 (あきもと みよ) 第3章

- ①1954年
- ②東洋大学社会学部教授
- ③社会保障法
- ④『福祉政策と権利保障——社会福祉学と法律学との接点』法律文化社, 2007年/『福祉契約と利用者の権利擁護』(共編) 日本加除出版, 2006年/『児童青少年保護をめぐる法と政策』中央法規出版, 2004年

田村哲樹 (たむら てつき) 第4章

- ①1970年
- ②名古屋大学大学院法学研究科准教授
- ③政治学, 政治理論
- ④『熟議の理由——民主主義の政治理論』勁草書房, 2008年/田村哲樹・金井篤子編『ポジティブ・アクションの可能性——男女共同参画社会の制度デザインのために』(共編) ナカニシヤ出版, 2007年/『国家・政治・市民社会——クラウス・オッフエの政治理論』青木書店, 2002年

菊地英明 (きくち ひであき) 第5章

- ①1976年
- ②国立社会保障・人口問題研究所研究員
- ③社会学
- ④『貧困の測定』武川正吾・三重野卓編『公共政策の社会学——社会的現実との格闘』東信堂, 2007年/『ヨーロッパにおけるベーシック・インカム構想の展開』『海外社会保障研究』157号, 2006年/『生活保護における『母子世帯』施策の変遷——戦後補償と必要即応原則』『社会福祉学』43巻2号, 2003年

鎮目真人 (しずめ まさと) 第6章

- ①1967年
- ②同志社女子大学現代社会学部准教授
- ③社会保障論
- ④「『公的年金改革の類型と2004年年金改革による制度のゆくえ』『社会政策』6号, 2006年/
「年金レジームと脱貧困化——OECD諸国の年金制度の機能と制度改革」埋橋孝文編著
『比較のなかの福祉国家』ミネルヴァ書房, 2003年/「公的年金支出の決定要因——制度
論アプローチによる計量分析」『季刊社会保障研究』37巻1号, 2001年

北 明美 (きた あけみ) 第7章

- ①1954年
- ②福井県立大学看護福祉学部准教授
- ③社会政策
- ④「『構造改革』下における社会手当の貧困とジェンダー問題」『ポリティーク』12号, 2006年/
「児童手当の意義とは何か——少子化論議の陥穽」原伸子編『市場とジェンダー——理
論・実証・文化』法政大学出版局, 2005年/「経済のサービス化と労使関係——ビルメンテ
ナンス業の中のジェンダー構造」竹中恵美子編『労働とジェンダー』明石書店, 2001年

小沢修司 (おざわ しゅうじ) 第8章, 座談会, 座談会補論

- ①1952年
- ②京都府立大学公共政策学部長
- ③経済学, 社会政策
- ④「福祉社会と社会保障改革——ベーシック・インカム構想の新天地」高菅出版, 2002年/
「生活経済学——経済学の人間の再生へ向けて」文理閣, 2000年/『経済がみえる 元氣
がみえる』法律文化社, 1992年

宮本太郎 (みやもと たろう) 座談会, 座談会補論

- ①1958年
- ②北海道大学大学院法学研究科教授
- ③比較政治学, 福祉政策論
- ④「福祉政治——日本の生活保障とデモクラシー」有斐閣, 2008年/『福祉国家という戦略
——スウェーデンモデルの政治経済学』法律文化社, 1999年